

## 2020年度 長野県岡谷東高等学校シラバス

教科	家庭	科目	ファッション造形基礎	単位数	2	学年	3	コース	教養フロンティア 健康スポーツ
								必修・選択	選択(C群)
使用教材	教科書	ファッション造形基礎 (実教出版)							
	副教材								

### 学習目標

衣服構成の基礎、構成技法、被服材料の特徴などに関する知識と技術を習得し、衣服を創造的に製作し着装する能力と態度を身につけることを目標とする。

### 学習方法

1. 授業内容や課題に関する自分の考え等は「授業学習プリント」に記入して、思考を深め知識を定着させる。
2. 被服製作においては1年次の家庭総合の学習で身につけた基本的な技術を使い、自分の感性も生かして、計画的に丁寧に作業を進める。実習後には反省感想、自己評価を「実習の記録」に記入する。
3. グループワークや発表、他者の作品の鑑賞では人の考えに耳を傾けて的確に聞き取り、自分の考えを深めて適切に話す。

### 学習評価

○次の四つの観点に基づき、学習内容のまとまりごとに下の評価マトリクスにより評価を行い学年末に5段階の評定に総括します。

<b>①関心・意欲・態度</b>	「ファッション造形基礎」の学習内容に関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしているか。
<b>②思考・判断・表現</b>	「ファッション造形基礎」の学習内容に関する課題とその解決を目指して思考を深め、具体的な事例を踏まえて適切に判断することができるか。その成果を表現、実践できるか。
<b>③技能</b>	「ファッション造形基礎」の学習内容に関する基礎的・基本的な技術を身につけたか。
<b>④知識・理解</b>	「ファッション造形基礎」の学習内容に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、それが生活の自立や創造に繋がっていくことを理解できたか。

評価方法\観点	評価の観点				備考
	①	②	③	④	
出席状況	◎	○	○	○	
授業学習プリント	○	◎	○	◎	
実習記録	◎	◎	○	○	
実習作品	○	○	◎	○	
考査	○	○	○	◎	

※表中の◎は観点の中でより重視するポイントです  
※それぞれの評価の観点はA、B、Cの三段階で評価します。

### 学習方法等のアドバイスなど

実習が主体の教科であるので、欠席や遅刻をしない。  
計画的に製作を進め、遅れはその都度取り戻し、提出期限を守ること。



## 年間学習計画

学期 時間数	学習内容	学習のねらい	学習活動 【評価方法】
1学期 22単位時間	人体と衣服  立体構成と平面構成  実習 ①巾着袋製作  和服・洋服の製作 実習 ②じんべい製作   期末考査	着心地の良い衣服の条件を理解する。 被服の構成には立体構成と平面構成があることを理解する。 基礎縫いの習得  上衣(平面構成)と下衣(立体構成)の類似点と差異、また縫製に関する基礎的な事項を理解し、製作する。	「授業学習プリント」 「実習の記録」 「作品」 「考査」
2学期 30単位時間	和服の着装  実習③ カラーコーディネート 実習④ ファッション画  期末考査	和服の構成と製作、着装に関する基礎的な知識技術を習得し、ゆかたと作品の着装。  カラーコーディネートやファッション画の基礎的な知識技術を習得する。 自分の着装をコーディネートする力を養う。	「授業学習プリント」 「実習の記録」 「作品」 「考査」
3学期 18単位時間	衣服の素材 繊維 糸 布  実習⑤ マフラー製作	織物と編み物の違い、編み物の特徴を製作を通して知る。	「授業学習プリント」 「実習の記録」 「作品」 「考査」